

「岡山芸術創造劇場ハレノワ」の2024年度 上半期の事業についてお知らせします

岡山芸術創造劇場ハレノワの、2024年度上半期の事業ラインナップを発表します。
2024年度は、「元気つながる広場、ハレノワ」をテーマに事業を実施します。

1 内容

- ① 開館事業の総括について
- ② 2024年度の事業テーマについて
- ③ 2024年度上半期の事業ラインナップについて

2 2024度上半期事業について

・オペラ、演劇、ダンスなどに加えて、ワークショップや公募の一般参加者とアーティストによる作品創作など計15事業を実施します。

・ハレノワのコンセプトである「魅せる・集う・つくる」のうち「つくる」に本格的に取り組めます。

「魅せる」・・・舞台芸術の鑑賞機会の提供を通じて地域の創造力を高める

「集う」・・・地域の社会課題解決の取組み、活力と賑わいあふれる共生社会を目指す

「つくる」・・・岡山発の創造事業を通じて地域の創造力を高め全国発信する。そして文化芸術の次世代を担う人材を育成する

〈主な事業〉

○松井周×菅原直樹『聖地(仮題)』関連企画 対話のワークショップ

・日時:5月25日(土)

・会場:小劇場

【公演情報】松井周×菅原直樹『聖地(仮題)』

・日時:11月30日(土)・12月1日(日)

・会場:小劇場

○子どもと舞台芸術大博覧会2024 in OKAYAMA

・日時:8月1日(木)～4日(日)

・会場:ハレノワ全館

【特別公演】レオの小さなトランク

・日時:8月1日(木)・2日(金)

・会場:大劇場

○ハレノワおとぎ話のダンス「^{ももたろうたいももたろう}桃太郎対百太郎」関連企画

①^{はなやぎおおひすい}花柳大日翠ワークショップ「日本舞踊であそぼう！」

- ・日時:9月14日(土)
- ・会場:アートサロン

②北村成美ワークショップ「カラダは天才!だれでもダンサー!!!」

- ・日時:9月16日(月・祝)
- ・会場:アートサロン

【公演情報】ハレノワおとぎ話のダンス「桃太郎対百太郎」

- ・日時:10月26日(土)・27日(日)
- ・会場:小劇場

○シャンゼリゼ劇場、カーン劇場、パシフィック・オペラ・ヴィクトリアとの共同制作

東京二期会オペラ『コジ・ファン・トゥツテ』

- ・日時:9月21日(土)
- ・会場:大劇場

※その他詳細は別紙にてご確認ください。

3 その他

渡辺弘プロデューサーは4月1日付けで岡山芸術創造劇場ハレノワの劇場長へ就任します。

※詳細な経歴については別紙にてご確認ください。

【問い合わせ先】

岡山市 文化振興課 安東 安田 直通086-803-1054 内線3740

MESSAGE

劇場長よりメッセージ

昨年9月1日の開館以来、岡山市民のみならず、そして全国から多くの方々にハレノワに来ていただき無事スタートすることができました。

2023年度開館事業では優れた芸術作品に触れていただくと同時に大中小の3つの劇場の特性を知っていただくために、オペラ、バレエ、コンサート、伝統芸能、現代演劇など多種多様な「魅せる」「集う」を中心とした催しを行ってまいりました。2年目からはそれらに加えいよいよ「つくる」にも本格的に取り組めます。子どもたちなど次世代を担う人々の活動の場を広げ、また高齢者のみなさまが元気に活躍する場にしようと考えています。

劇場は、芸術を生み出す「果樹園」であり、市民のみなさまが気軽に集う「広場」です。

まだ出航したばかりですが、これからみなさまに愛される劇場になるよう精一杯努めてまいります。

劇場長兼プロデューサー 渡辺 弘



『老人ハイスクール』 撮影：富岡菜々子



「ハレノワひろば」



HARENOWA
LINE UP 2024



チケットのご予約・ご購入方法

インターネット
[24時間受付]

▶ 岡山芸術創造劇場 ハレノワ 劇場公式サイト
<https://okayama-pat.jp/>



窓口 | お電話

▶ 岡山芸術創造劇場ボックスオフィス
TEL 086-201-2200
受付時間 | 10:00~18:00 定休日 | 12月28日~1月4日

▶ 岡山シンフォニーホールチケットセンター
TEL 086-234-2010
受付時間 | 10:00~18:00
定休日 | 第2・4火曜日(火曜日が休日にあたる時は、その翌日)、12月28日~1月4日

その他プレイガイド

▶ イープラス <https://eplus.jp/harenowa/> ▶ チケットぴあ <https://t.pia.jp/>
▶ ローソンチケット <https://l-tike.com/> ▶ ぎんざプレイガイド TEL 086-222-3244
※公演によって取扱いが異なります。詳しくは各公演の情報をご確認ください。



車椅子スペース
要予約・定員あり

各劇場に車椅子のままご観劇いただけるスペースがございます。席に限りがございますので、事前に岡山芸術創造劇場ボックスオフィスへお問合せください。

ハレノワ・メンバーズ 登録受付中!

- 特典1 いち早くチケットを購入できる
 - 特典2 インターネットから座席を選んでチケットが購入できる
 - 特典3 お得な情報をご案内
- ご希望の方には公演情報や先行発売などのお知らせをメールマガジンにてお送りいたします。その他、ハレノワ・メンバーズを対象としたプレゼントを企画!!

詳しくはこちらから <https://okayama-pat.jp/member>

登録・年会費無料



ハレノワの最新情報はこちら



JR岡山駅からのアクセス【JR岡山駅より路面電車】
東山行▶「西大寺町・ハレノワまえ」下車 徒歩約5分
清輝橋行▶「大雲寺前」下車 徒歩約5分

岡山芸術創造劇場
ハレノワ

お客様用の
駐車場は
ございません

近隣の
コインパーキングや
公共交通機関を
ご利用ください。

※掲載内容は3月15日時点の情報です。今後、事業内容や出演者等に変更が生じる場合があります。
※事業の詳細については、劇場ホームページ等をご確認ください。
※タクシーで来場されるお客様は劇場B2Fの車寄せで降車できます。ただし、当該場所への迎車(お客様による配車)はできません。

主催：公益財団法人岡山文化芸術創造 共催：岡山市

発行日：2024年4月1日



岡山芸術創造劇場 ハレノワ

お問合せ 岡山芸術創造劇場 〒700-0822 岡山市北区表町3丁目11番50号
TEL 086-201-2200 FAX 086-201-8004 <https://okayama-pat.jp/>

2024 LINE UP

2024.4-9

岡山芸術創造劇場 ハレノワ
2024年度上半期ラインナップ



岡山芸術創造劇場
ハレノワ



元気が
広がる
ハレノワ

魅せる

岡山芸術創造劇場 ハレノワ 2024年度上半期 事業一覧 [2024.4-9]

2024年度上半期も演劇やミュージカル、オペラなど様々なジャンルの魅力的な公演を上演します。

新世代をリードする演劇人として勢いに乗る加藤拓也。その若き才能が不条理劇の第一人者・別役実の世界に挑む! 堤真一、藤井隆、溝端淳平らと共に創り上げる必見の舞台。

シス・カンパニー公演
『カラカラ天気と五人の紳士』
5/2(木)~4(土)祝 会場|中劇場

作|別役実 演出|加藤拓也
出演|堤真一 溝端淳平 藤井隆
野間口徹 小手伸也 中谷さとみ 高田聖子



逃げようとするすべての大人たちに告げる。モアパッション、モアエモーション!
劇作家・演出家のマキノノゾミが自身の演劇の原点である、つかこうへいの代表作に挑む。

『初級革命講座飛龍伝』
5/18(土)|19(日) 会場|小劇場

作|つかこうへい 演出|マキノノゾミ
出演|武田義晴 吉田智則 木下智恵



つかこうへい ©斎藤一男スタジオ マキノノゾミ

『死』を見つめて、『生』を考える絵本『死んだかいぞく』が親子で楽しめる音楽劇に!
演出・ノゾエ征爾と音楽・田中馨の名コンビが生み出す新作!

音楽劇
『死んだかいぞく』
8/24(土)|25(日) 会場|中劇場

原作|下田昌克 脚本・演出|ノゾエ征爾
音楽|田中馨 出演|山内圭哉 ほか



ノゾエ征爾 山内圭哉

創立70周年に贈る、劇団四季ミュージカルの原点。
時を経ても輝き続ける、魂の舞台をあなたに一。

劇団四季ミュージカル
『ジーザス・クライスト=スーパースター』
[エルサレム・バージョン]
9月開催予定 会場|大劇場



撮影:山之上雅信

“ダ・ポンテ三部作”として『フィガロの結婚』『ドン・ジョヴァンニ』とともに愛されるモーツァルト不朽の名作。至上の音楽とともに恋の駆け引きを楽しむ甘美な時間。

シャンゼリゼ劇場、カーン劇場、パシフィック・オペラ・ヴィクトリアとの共同制作
東京二期会オペラ
『コジ・ファン・トゥッテ』
[字幕付き原語(イタリア語)上演]

9/21(土) 会場|大劇場
指揮|クリスティアン・アルミンク
演出・衣裳|ロラン・ペリー



クリスティアン・アルミンク ©Shumpei Ohsugi
ロラン・ペリー ©Carole Parodi

集う

劇場は、多くの人が集い、交流をする広場でもあります。ハレノワでは、様々な垣根を越えて参加していただけるような事業を実施します。

演劇や音楽などの舞台公演やワークショップが盛りだくさんな大博覧会が、今夏は岡山に! 0歳から大人まで楽しめるプログラムも多数。夏休みは、みんなでハレノワにあそびに行こう!

子どもと舞台芸術
大博覧会 2024
in OKAYAMA

8/1(木)~4(日)
会場|全館使用



撮影:studio Roop

特別公演

地球の重力の底が突然変わってしまったら?
ある男の夢と自由をめぐる、親子で楽しめるパフォーマンスがカナダより来日。

『レオの小さなトランク』

8/1(木)|2(金) 会場|大劇場



撮影:Heiko Kalmbach

2023年9月に表町が歓声に包まれた100人ダンスが帰ってくる! 劇場の普段入られない場所をじっくり見られるオープンハウスも同時開催。

ハレノワ1周年記念事業
オープンハウス
100人ダンス、探検ツアーなど

8/15(木)~18(日)
会場|全館使用



撮影:富岡菜々子

小学生とアーティストが、劇場で自由にあそぶ「ハレノワひろば」と、岡山で暮らす外国の人たちに劇場を楽しんでもらうための「ワールドエンジョイパーティー」。

劇場ラボ

「ハレノワひろば」
5月~2025.2月

いっしょにあそぶアーティスト|
深谷千草 多田淳之介 田上豊 白神ももこ

「ワールドエンジョイパーティー」
6月~2025.2月



ハレノワひろば

公募プログラム2024

岡山芸術創造劇場ハレノワが市民県民の皆さまの文化芸術活動拠点となるよう、2025年2月を中心に「中劇場」「小劇場」を使用していただく機会を提供します。詳細については劇場ホームページより専用サイトをご確認ください。

つくる

「創造」事業では、一般参加者とアーティストによる作品創作に取り組みます。舞台芸術の入口になるようなワークショップも開催します。

故・蜷川幸雄が率いた高齢者演劇集団さいたまゴールド・シアターに、松井周が書き下ろした『聖地』。2010年の初演から時を経て新たに生まれ変わる! 公演に先駆けてワークショップを実施。

松井周×菅原直樹『聖地(仮題)』関連企画
対話のワークショップ

5/25(土) 会場|小劇場
講師|菅原直樹



菅原直樹
撮影:草加和輝

公演情報 松井周×菅原直樹『聖地(仮題)』

11/30(土)|12/1(日) 会場|小劇場 作・演出|松井周 出演・演出協力|菅原直樹

出演者オーディションの詳細は劇場ホームページにて

劇作家、演出家、俳優として第一線で活躍を続ける岩松了が戯曲講座の講師としてハレノワ初登場! 岩松流の戯曲のつくり方とは?

ハレルワークショップ 戯曲講座シリーズVol.6
岩松流戯曲のつくり方(仮)

日程未定 講師|岩松了

岡山の高校生が地域の高齢者を取材した題材を基に、オリジナル戯曲をつくる全4回のワークショップ。出来上がった戯曲は12月の演劇ワークショップで使用する。

ハイスクール meetTextT
6/15(土)|29(土)|7/13(土)|27(土)

講師|角ひろみ



角ひろみ

誰もが知る桃太郎をテーマに、人気振付家の近藤良平、北村成美がハレノワオリジナルの子ども向けダンス作品を新作! 公演に向けてのワークショップを9月に開催。

ハレノワおとぎ話のダンス「桃太郎対百太郎」関連企画
花柳大日翠ワークショップ
「日本舞踊であそぼう!」

9/14(土) 会場|アートサロン
講師|花柳大日翠



花柳大日翠

北村成美ワークショップ
「カラダは天才! だれでもダンサー!!」

9/16(月)祝 会場|アートサロン
講師|北村成美



北村成美

公演情報 ハレノワおとぎ話のダンス「桃太郎対百太郎」

10/26(土)|27(日) 会場|小劇場

『桃太郎』(仮題)演出・振付|近藤良平
『百太郎』演出・振付|北村成美 『百太郎』出演|花柳大日翠ほか

出演者オーディションの詳細は劇場ホームページにて

アウトリーチ事業 アーティストとであう

岡山県内の小学校・特別支援学校へアーティストが出向き、演劇やダンスを通して舞台芸術の楽しさを伝えます。

渡辺 弘（わたなべ・ひろし）

【略歴】

- ・1953年 栃木県生まれ
- ・1980年 情報誌『シティロード』の編集などを経て、演劇ジャーナリストとして活動
- ・1984年 西武百貨店に入社し「銀座セゾン劇場」の開業準備、1987年開場より制作業務を行う
- ・1989年 東急文化村に入社し、Bunkamura 開業準備に携わり、開場後は「シアターコクーン」の運営、演劇制作を行う
- ・2003年 長野県松本市の「まつもと市民芸術館」の開業準備に携わり、開場後はプロデューサー兼支配人として運営、制作業務を行う
- ・2006年 10月 （公財）埼玉県芸術文化振興財団（「彩の国さいたま芸術劇場」）に移り、業務執行理事兼事業部長に就任。現在はゼネラルアドバイザー
- ・2022年 10月 公益財団法人岡山文化芸術創造 岡山芸術創造劇場プロデューサー就任
- ・2024年 4月 公益財団法人岡山文化芸術創造 岡山芸術創造劇場 劇場長に就任（プロデューサー兼務）

